

あつし塾長の

# 子のやる気 親の気づき

〇〇36



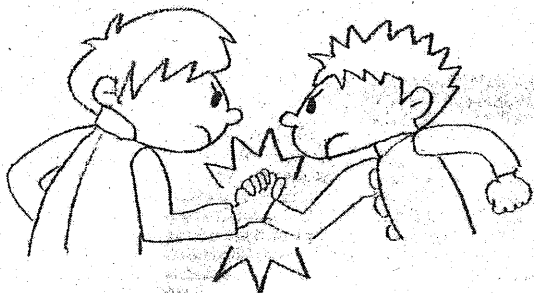
第2章・ゆとり教育世代の子育て

チリ落盤事故の「奇跡の全員生還」といううれしいニュースが、「チリ万歳」という歓喜の叫びと表情で全世界に配信されました。全員で国歌を歌いながら希望を持ち続けたチリの皆さんの連帯感に私たちも学ぶものが多かったと思います。

## 連帯感

教室でその救出劇に触れた後、「今日、学校で何かあったかな？」と一人一人に聞いてみました。それぞれ考え込んでから「別にフツフツでした」「うん、何もありません」と「フツフツ」に笑顔で答えてくれました。  
その中で一人の男子が「あっ、先生と生徒がけんかか？ いや、もめました」と言いました。「先生と生徒は対等でないのにけんかし

# きずな結び合う経験を



## 面倒くさいと片付けずに

たりするの？」と聞いたら「かかわらなくていいことに先生がこだわるから」と。「結末は？」「生徒は机を叩いて教室を出て行きました。」「君はどう思うの？」とさらに聞くと「どうせその人(生徒)が将来どこかで困るのだから、かかわらなくていいと思います」と面倒くさいのは嫌という表情を見せました。  
別の女子は「私のクラスであと一人不登校が出れば担任は首だそうです。最近、私をえこひいきばかりするので、私がうざがられて

います。学校に行くのが嫌」と教えてくれました。ゆとり教育世代の日本はどうなっているのだろうかとか心配になりました。  
そして今週、高校中退の相談での来塾が3件もありました。退学勧告の理由は窃盗、暴力、深夜徘徊(はいかい)といかにも重大ですが、内容は、1000円借りたのを後日取ったと言われたり、柔道部の友達にヘッドロックをしたことを首を絞めたと言われたり、夜10時にコンビニの前で友達といたら警官に学校名を聞かれ学校に伝わったり。どうもわ

る気がなくなってきたので」と泣いていました。私は本人に「事実を話せば分かってもらえるでしょう?」と、なぜ弁明しないか尋ねました。すると「もういい。面倒くさいから」と。  
子どもには人見知りの時期があり、その時期に見知らぬ人たちの中にたった一人置き去りにされる孤独感を緩和するすべとして、誰かとながっていたい、是が非でもかわりを持ちたいという経験をします。しかし、利便性や合理性が優先され、面倒を避ける生活が一般的になってい

れわれ親の現在の、連帯感を大切にする経験を思春期まで大人側の側が意識し、側で「辞めさせていく経験を通して、絶対絶命の状況でも希望を持てるリーダーが子どもたちの中から育ててほしいと願います。  
by yoriko  
「この子はもう何もす  
れわれ親の現在の、連帯感を大切にする経験を思春期まで大人側の側が意識し、側で「辞めさせていく経験を通して、絶対絶命の状況でも希望を持てるリーダーが子どもたちの中から育ててほしいと願います。  
「同じ釜の飯を食う」という言葉がありま

持続可能な一人が考えたエネルギーの資源を守る次代を担うべき全意識を育てる。先駆的に育に取り組みながらの体感を展開されてきたま市いど)小学校前からエネルギーの体験型のある。「地球で?」。6年科担当の横着ねる。「エコ走る車」といって作って必要な教育が2人一組のブロック玩具を用いて。児童らはブロックの積み立てる。形とコードでし、手回しエネルギー昇ら、速く走ら長持ちさせたいペアで話し合児童らは「がこんなにかかった。家

## 教育

# ニュース なぜなに

くつついて、まったくくちがった性質の物になってしまったりする化学反応を見つけたります。  
今回の2人のノーベル賞は、この化学の分野で、これまでだれもできなかった新しい方法を考え出したことに対するも

薬や、テレビの画面などに使われる材料、服に使う繊維など、わたしたちの生活に必要なさまざまな物を作り出せるようになりまし。



の論者先生 (ナ) 1